

様式第4号(第14条関係)

埼玉県エコアップ認証事業所取組実施状況報告書

令和7 年 7 月 16 日

(あて先)
埼玉県知事

報告者 氏名又は名称
住所
法人の場合は代表者氏名
電話番号

株式会社利根川建設
埼玉県比企郡川島町大字正直595

代表取締役 利根川 博

049-297-0333

埼玉県エコアップ認証制度実施要綱第14条2項の規定より、次のとおり、報告します。

事業活動の概要

ふりがな	かぶしきがいしゃ とねがわけんせつ			
事業所の名称 (認証範囲も記載)	株式会社 利根川建設 (本社)			
事業所の所在地	〒 350-0162 埼玉県比企郡川島町大字正直595			
事業の内容	建設工事業			
事業の規模	資本金(万円)	50000 万円	主要製品	-
	従業員数 人数(人)	7 人	事業所の敷地面積	2000 m ²
	()	-	(延床面積)	212 m ²
地球温暖化対策 推進者名	役職		氏名	利根川 浩二
担当者	所属	営業部	氏名	利根川 浩二
連絡先	電話	049-297-0333	FAX 電子メール	049-297-5073 tonegawa@ec1.technow ave.ne.jp

1 環境方針 ※(見直しを行った場合、記載すること)

制定日	平成20 年 12 月 24 日	改訂日	年 月 日
現行のとおり			

2 環境負荷の現状

(1)環境保全の取組のチェック結果 ※申請時からの達成率の変化状況

項 目	廃棄物	大気・水質	化学物質	節水・水	製品開発
今回達成率	100 %	100 %	100 %	100 %	- %
認証申請時達成率	100 %	100 %	100 %	100 %	- %
項 目	建築・開発	グリーン購入	環境教育	その他	
今回達成率	100 %	100 %	100 %	100 %	
認証申請時達成率	100 %	100 %	100 %	67 %	

(取組に関する情報・説明) ※当期に取り組んだ事項を記載する。

(廃棄物) 前年度対策を継続した。	マニフェストの適正な管理、 ペーパーレスの推進、FAXをメールに切替可能な箇所についてはメールを活用、 FAXもPCFAXを活用し資料等は紙に出力せずに電子デバイス上で確認 地域学校の古紙回収に参加
(大気・水質) 前年度対策を継続した。	アイドリングストップ、エコ運転の周知、徹底 キー抜きロープの周知、徹底 川の国応援団の活動に参加 彩の国ロードサポートを実施(清掃活動) 浄化槽を単独浄化槽から合併浄化槽へ入替を行った。
(化学物質対策) 正処理	建設工事の際に発生する化学物質の含有を専門機関にて試験、分析し適 の徹底をし化学物質による汚染の防止をした 専門業者と連携し化学物質の適正な回収、運搬、処分を実施
(節水・水について)	事務所を建て替えに伴い節水型トイレを導入した。
(建築・開発) た。 荷を	事務所の建て替えに伴い建材、電気機器を環境負荷に配慮した製品にし 窓ガラスをLow-E複層ガラスにし日射、放射を抑制し断熱効果を高め空調負 低減させることにより電気使用量を削減する。 電気照明をすべてLEDにすることにより電気使用量を削減した。
(グリーン購入について) 前年度対策を継続した。	物品の調達リストの活用
(環境教育について) 前年度対策を継続した。	定期教育等の実施
(その他:地域への貢献) 地域小学校の古紙回収に積極的に参加しこれを継続した。	

(2) 環境への負荷のチェック結果

ア) 建物系CO₂排出量実績

項 目	単位指標等	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	6.0	6.0	6.0	5.0
(床面積) 当たり	t-CO ₂ /m ²	0.0255	0.0255	0.0255	0.0236
原単位の指標	(床面積) m ²	235	235	235	212

イ) 工場・現場系CO₂排出量実績

項 目	単位指標等	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	3.0	5.0	5.0	3.0
(台数) 当たり	t-CO ₂ /台	1.5000	2.5000	2.5000	1.0000
原単位の指標	(台数) 台	2	2	2	3

ウ) 自動車系CO₂排出量実績

項 目	単位指標等	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	25.1	25.2	28.8	22.7
(台数) 当たり	t-CO ₂ /台	1.9308	1.9385	2.2154	1.8917
原単位の指標	(台数) 台	13	13	13	12

エ) (ア+イ+ウ) 合計

項 目	単位指標等	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	34.1	36.2	39.8	30.7
(床面積) 当たり	t-CO ₂ /m ²	0.1451	0.1540	0.1694	0.1448
原単位の指標	(床面積) m ²	235	235	235	212

(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の実績

年 度	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	削減量 (t-CO ₂)	削減率 (%)	CO ₂ 原単位 (床面積) 当たり t-CO ₂ /m ²	削減量 (床面積) 当たり t-CO ₂ /m ²	削減率 (%)
基準値	36.7			0.1562		
4 年度	36.2	△ 0.5	△ 1.4%	0.1540	△ 0.0022	△ 1.4%
5 年度	39.8	3.1	8.4%	0.1694	0.0132	8.5%
6 年度	30.7	△ 6.0	△ 16.3%	0.1448	△ 0.0114	△ 7.3%
平均削減率			△ 3.1%			△ 0.1%

(4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明

事務所の建て替えに伴い、全照明をLEDにし断熱性能の高い窓ガラス、断熱材の使用、省エネタイプの空調設備を導入した結果12月から新社屋に移ったところ電気の使用量が12月～3月の間で前年度と比較すると28%の削減になった。

重機については1台省エネ機を追加し都度リースする回送を減らすことと重機の燃費の改善に努めた結果、現場のCO₂排出量を抑えることができた。

自動車燃料はエコ運転と1台削減したことにより全体の排出量、1台当りの排出量ともに削減できた。

今期は上記の影響が大きく、削減量、削減率ともに大きく削減できた。

3 取組及び対策状況、結果の評価、見直しの説明（PDCAの状況）

（1）今期に取り組んだ対策、次年度への取組に関する情報・説明

（電気使用量）

- ・夏場のグリーンカーテンを廃止し事務所新築に伴い窓ガラスをLow-Eガラスに変更した。
- ・エアコンの温度設定及び使用時間を可能な限り抑える。
- ・エアコンと扇風機を併用し空気循環させることによりエアコンの負荷を抑え電気の使用量を減らす。
- ・事務所の建て替えに伴いすべての照明機器をLEDに変更し空調機器を環境負荷の低い製品に更新した。
- ・ウォーターサーバーを廃止した。

（ガス使用量）

前年度同様啓発活動を実施し使用量をできるだけ抑える。

（自動車燃料等）

- ・社有車の軽自動車1台が20年経過しているので環境負荷の低い車両に更新を検討する。社有車の台数を1台減らした。
- ・現場の軽油使用量を抑えるためにリースする建設機械は低燃費のものを使用する。
- ・主に現場毎にリースをしている重機を新たに購入し車両の運搬の回数を減らすことにより燃料の消費量を削減した。
- ・新たに購入した重機を環境負荷の低い車両にした。

（廃棄物等）

- ・前年同様ゴミの収集分別を行いリサイクル率100%を維持する。
- ・購入時にエコバック等を使用する。

（2）目標達成状況と取組実施状況の確認・点検概況

・直近の内部監査実施日： 令和 7 年 4 月 7 日

全社員エコ活動に意識して取り組んでいる。

自動車燃料はエコ運転と1台減ったことにより削減できた。

新社屋になり電気の使用量が大幅に減った。

ガスの使用量は少ないが増えているので極力使用を抑えるようにする。

（3）代表者等による全体の取組の評価・見直し概況

・直近のマネジメントレビュー日： 令和7 年 4 月 7 日

社屋の建て替えに伴い、建物の断熱、遮熱の効果と空調設備のエコ化によって大幅に電気の使用量が抑えられた。

ガスの使用量は少ないが削減できていないので改善してほしい。

4 公 表 （取組実施状況報告（エコアップ認証）の公表状況）

●公表方法は以下の通り

事業所： 本社総務部にて公表

時 間： 9:00～17:00

場 所： 埼玉県比企郡川島町大字正直595

電 話： 049-297-0333

ホームアドレス：

その他： メールアドレス tonegawa@ec1.technowave.ne.jp